



KAWASAKI
SDGs

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

川崎市子ども・若者応援基金

令和5年度の実績紹介



ご寄附
ありがとう
ございます

令和5年度は、
多くの個人、企業、団体の応援・後押しにより、
72,904,766円を積み立てることができました。

(基金残高(令和6年12月1日時点) 3億2935万1745円)

※積立額には、川崎市競輪事業及び神奈川県川崎競馬組合競馬事業の収益も含まれます。

応援・後押しを受けた子どもたちの声をぜひ御覧ください。



未来につながる、子ども・若者の応援・後押し

置かれた環境によって
学習機会に差があるのは、
何か違う気がする。



色々とチャレンジして、
成功も失敗も、
体験したらいいと思う。



機会格差の解消

挑戦の後押し

夢や目標を持つ川崎の子ども・若者の応援

令和5年度は「機会格差をなくす取組」と「子ども・若者の挑戦の後押し」の2つの柱で4つの応援を行い、合計52,830,953円を活用しました。



機会格差をなくす取組

① 社会的養護奨学給付金

令和5年度実績 決算額：19,920,000円 事業対象者：34人



里親家庭や児童養護施設等の退所者等を対象に、大学等進学時の奨学金や資格取得に要する経費に対し、給付金を支給しました。

大学等進学奨学金	大学等の学資に充てるための給付金 (国公立大学等：月額3万円、私立大学等：月額5万円)
資格取得給付金	一般教育訓練講座の受講経費に対する給付金 (対象講座の修了に必要な入学料、受講料、教材費)

この度は川崎市社会的養護奨学給付金を頂き、誠にありがとうございます。ご支援は、私にとって学業や生活面で大きな支えとなっております。川崎市からの給付金により、経済的な不安が軽減され、看護の学びに専念できる環境が整いました。将来の看護師としての姿を具体的にイメージする機会が増えました。今後も、看護の知識や技術の習得に励み、地域社会に貢献できる看護師を目指して努力してまいります。(大学2年生)

給付金のおかげで進学の夢を諦めずに済みました。卒業まで残り少ないですが、しっかり学んでいきたいです。(専門学校2年生)

返済不要の奨学金であるという安心感が強いです。そのおかげで勉学に励むことができ、3年連続特待生として褒賞を学内でいただきました。学費2割免除という、さらなる負担軽減にもつながりました。この奨学金によって、私の夢の実現がより現実的なものとなり、毎日楽しく生活できています。(専門学校3年生)

川崎市社会的養護奨学給付金があることで受験の時期のアルバイトも負担なく入れることができたので受験に集中することができました。そのおかげもあり無事に志望する大学、学部に入学することができました。入学してからも大学とアルバイトのバランスをうまく組み立てて生活することができています。ありがとうございます。卒業まで頑張ります。(大学1年生)

※学年はコメント提出時のものです。



機会格差をなくす取組

私は児童養護施設で中学生から高校卒業まで過ごし、そして大学では、社会的養護奨学金制度を使って卒業しました。大学に行きたいという夢を叶えてくださったこの制度には感謝してもしきれません。今の私は、夢であった児童養護施設の職員をやっています。児童養護施設で育ち、職員の方々の動きを見て育った私が、今度は社会的養護を必要とする子どもの支えになる番です。本当にありがとうございました。（社会人1年目）

ご支援頂きありがとうございます。勉学、生活面にてとても助かっております。

この度、行政書士試験を受験致しました。多いときには1日8時間ほど勉学に励んでおりました。また、就業後となりますが弁理士資格にも挑戦してみたいです。頂いた奨学金を有効活用して、心身健康な時に学識を深め、充実した人生を歩みたいと思っております。（大学3年生）

※学年はコメント提出時のものです。

いつも奨学金の援助をありがとうございます。おかげでより良い日々を過ごせさせていただいております。これからもよろしくお願いします。（大学2年生）

② 学習支援費

令和5年度実績 決算額：16,364,553円 事業対象者：75人



里親家庭や児童養護施設等の児童に対して、児童の個性に応じた学習支援を行うための費用を支給しました。

地域人材・NPO法人等を活用	団体実施の学習支援を利用する場合や施設等に招いて学習支援を行う場合の経費
教材等を活用	里親や施設で、市販の教材等を活用して学習支援を行う場合の経費
塾及び家庭教師	塾や家庭教師を利用する場合の経費

中学1年生から塾へ行きはじめ、分からない所を自分が分かるようになるまでゆっくり解説してくれるので、塾に通うことができるようになって良かったです。すごく助かっています。ありがとうございます。（中学1年生）

支援級なので、学校でも勉強のフォローはたくさんいただいておりますが、それでもまだまだ足りないところを自分で復習するのに利用しています。また、どこがわからないのか親も確認できるので、なんとか授業についていけています。ありがとうございます。（小学2年生）

とても嬉しい。大きくなったら私は警察官になりたいです。今は漢字を頑張っています。（小学3年生）

公文が好きで、出来るようになりました。足し算、引き算なども、塾へ行ったから出来るようになりました。国語の文章も少しずつ読める様になりました。国語を好きになってきています。（小学3年生）

川崎市学習支援費のおかげさまで、塾に通わせていただいております。ありがとうございます。（小学6年生）

※学年はコメント提出時のものです。



③ Stanford e-Kawasaki

令和5年度実績 決算額：11,538,400円 事業対象者：20人（市立川崎・橘高校生徒）



スタンフォード大学の国際異文化教育プログラム（SPICE）と連携し、「多様性」と「アントレプレナーシップ（起業家精神）」をテーマに、高校生向けのプログラム「Stanford e-Kawasaki」を開講しました。約半年間、事前課題の提出、ゲストスピーカーによる講演、グループディスカッションを繰り返し、最後は自ら選んだ研究テーマのプレゼンテーションを行いました。なお、プログラムは、全て英語で実施しています。

Stanford e-Kawasakiは僕の世界観を大きく変えてくれました。いま世界で問題になっていることを自分なりに考えて仲間と話し合えたのは本当に貴重な機会でした。教科書の向こう側に触れてそれを自分事として考えたことで学ぶことの喜びに改めて気が付きました。（高校2年生）

受講前はStanford e-kawasakiを通し、英語力を伸ばしていきたいと考えていましたが、実際、グループでのディスカッションを通し、英語だけじゃなくて、その豊かさだったり表情ジェスチャーが英語を通して相手に自分の意見で“伝える”という面でとても大切だということ学びました。（高校2年生）

講義や他の参加者との意見交換を通して、教養が高まり価値観が大きく変わったと思います。そうした内容とは裏腹に、英語でも講義についていけるよう事前課題などが準備されていて大きな負担にならなかったことも良かったです。（高校2年生）

私はStanford e-kawasakiの講義を通じて多様性や起業家精神について学び新しい知識をつけることができました。また講義で質問することで内容の理解も深まり自信を持って発言する力も身についたと感じました。この経験を活かして今後は世界で活躍できるビジネスリーダーになりたいです。（高校2年生）

現地の講師の方々から直接知るアメリカの実情は自分のイメージと違う点が多く、受講するたびに視野の広がりを感じました。そして、仲間のおかげで英語を話すことへの抵抗が非常に小さくなりました。本当に、このプログラムに参加してよかったと思っています！（高校2年生）

様々なトピックに対し他の受講者の意見や視点が毎回自分自身の学びになりました。またゲストスピーカーの話はとても興味深いもので私に色々な考えや知識を与えてくれました。（高校1年生）



演台に立つのプレゼンテーション



演台に立つのプレゼンテーション



市長からのメッセージ



修了証の授与

今回、Stanford e-kawasakiに参加して自分に人から話を聞くことで大きな気づきがたくさんあったなと感じます。様々な分野の方のお話が聞けたことでよりダイレクトにより多くの気づきをより実践的に物事を捉えられるようになりました。(高校2年生)

私は英語が特別得意ではなかったのですが何度も英語を話す機会があったので慣れたと今は思っています。英語を間違えても生徒のみんなやインストラクターの先生が温かく聞いてくださったおかげで、自分の言葉で話してみようと思えるようになりました。(高校2年生)

幼少期から英語の学習を続けてきましたが、これほど実践的に英語を使う経験は初めてでした。母語でない言語で意見を述べたり文章を書いたりしたことで、より多角的な視点が身についたと思います。この経験を将来の糧にしていきたいです。(高校2年生)

本当に参加してよかったと感じています。私にはハードルが高すぎると緊張していましたが、講師の皆さんなどのサポートもあり、初めて英語で意見を言うのが楽しいと感じることができました。もしも参加を迷ってる人がいたら全力で勧めたいプログラムです。(高校2年生)

1年生で参加しましたが、学年関係なく先生や先輩方が接してくれてとても楽しく受講することができました。最終発表本番はとても緊張しましたが、人前で英語で何かを発表する機会は今となってはとても大切なものとなっています。(高校1年生)

知識や新しい価値観を得ることで自分に見える世界が広がるということを学びました。また実践的な英語力やプレゼンテーション力も向上したと思います。将来はこの経験を活かしグローバルの中で活躍できる人材になりたいです。(高校2年生)

各業界で活動している人から生の情報を得ることができインスピレーションを与えてくれました。今後の人生で、私は信頼できる仲間とともに、世の中についてもっと知り、まだ見ぬ場所へと向かうことを恐れない生き方を選びたいと思います。(高校2年生)

このプログラムを通して様々な人種の人が様々な場面で活躍していることを学びました。今まで私にはなかった目標と視野をくれた最高のプログラムでした。(高校2年生)

他校の人や講師の方たちと英語で話すというのは、とても貴重な経験でした！英語でコミュニケーションを取ることに對して、初めはとても緊張していましたが、実際に行ってみるととても楽しかったです。将来海外の大学に行つて勉強したいな、という気持ちがいっそう強くなりました！(高校2年生)

「他の学校の生徒と英語で話し合うなんて…」と思っていましたが、いざ始めてみると、英語だからこそ互いに遠慮せずに話し合うことができました。プログラムを終えて、英語で会話をするこつや、学術記事を読むこつへの抵抗感がなくなり、むしろ英語の活用自体に意義を感じるようになったと思います。(高校2年生)

アメリカと日本の繋がりや違い等を学ぶことができたのももちろん、それ以上に自分で課題について考えたり、伝えたり、逆に他の人の考え方や意見を知ることができてよかったです。(高校2年生)

アメリカと日本の違いについて驚くべき発見がたくさんあつて授業は毎回とても興味深かったです。英語を話すことが苦手な人でも参加する意義はともあると思います。(高校3年生)

※学年は受講時のものです。



閉講式での集合写真



4 かわさきジュニアベンチャースクール

令和5年度実績 決算額：5,008,000円 事業対象者：延べ55人（小学5年生～中学生）



次世代を担う若い人たちに、失敗を恐れずに新しいことに挑戦できる能力を身につけてもらうための講座として「かわさきジュニアベンチャースクール」を開催しました。全8回の連続講座と市内企業による特別講座で構成され、連続講座では、社会や暮らしを良くするアイデアを参加者自身に提案していただき、専門家の助言を得ながら具体的な形にするとともに、特別講座では、各企業の持つ技術や最先端の研究を通じて、社会課題の解決について理解を深めました。

私は特にゲスト公演が学びに役立ったと思います。何故なら、様々なところで活躍している方のお話を聞き、自分にはまだ無かった考えや知らなかったこと、苦手なことへの理解が深まったこと、また、この様な機会が中々無かったからです。そこから得た知識を他の所で活用することもできました。（中学1年生）

今までは、「失敗したらどうしよう」「間違えるのが怖い」と思っていた。しかし、この講座を通して、失敗を恐れずにチャレンジすることができるようになりました。（小学5年生）

イベント終了から修学旅行前日までに友達が5人増えました。私はあまりグループ活動をしてこなかったのですが、グループでアイデアを出したことでグループ活動に慣れ、友達ができやすくなりました。また、授業でグループ発表があったのですが、みんなのアイデアをまとめることができ、スムーズに進めることができました。（小学5年生）

チームで活動する際の立ち回り方、計画の立て方など様々な事を学べ、活かせるようになりました。（中学1年生）

普段は聞けない起業家の方の話を聴いたり、そこからプレゼンなどに活かしたりしました。また、違う学校の違う学年の人達と活動するのがとても楽しかったり、いい経験になりました。（中学1年生）

プレゼンテーションでは、どのようにして伝えるかを考えることができ、他の人の話を聞いて生かすことや、起業家さんたちの話を聞いて自分の考えを見つけ出すこと、なぜ起業家さんたちはこの話をしたのか、と自分で掘り下げていくことができました。また、チーム活動では、意見が合わなくても話し合いをすることや、なぜその意見を尊重しているかを言い合うなど、学校の幅を超えた「伝える」を学びました。（小学6年生）

私は人と関わることが好きで、将来の目標は「SDGsを制覇する」ことです。今回イベントに参加して、新しい仲間と出会い、認められる環境を経験することができました。学校では、静かで、あまり目立つ方ではありません。でも、家では自分の意見を言ったりすることが多くあります。今回のイベントでは、自分で問題を1から決めていくことで、より深掘りすることができました。（小学5年生）

今回のグループ活動で、自分では思いつかないような様々な問題解決のアイデアが出たので、今後、問題解決が必要な時には、今回の経験を応用して役立てたいです。（小学5年生）

勉強面では、今回のイベントで学んだ計画の立て方や、効率の良い動き方を実践したいです。活動面では、皆を引っ張る時の行動や、他の人とのコミュニケーションを意識したいです。（中学1年生）

※学年は受講時のものです。



アイデアを出している様子



閉会時での集合写真



COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



これから始まる
Colors, Future! Actions
さあ、いっしょに。

100th

2024年、川崎市は市制100周年

川崎市子ども・若者応援基金 寄附のご案内



寄附のお手続き

クレジットカードによる納付

市内在住の方、市外在住で「川崎市子ども・若者応援基金」に使い道を希望される方は、川崎市ホームページ「川崎市ふるさと納税」からお手続きください。
※ホームページ内の「クレジットカードによる納付（外部リンク）」よりお進みください。なお、返品をご希望の場合、詳細な使い道の指定はできません。



クレジットカード以外による納付

●個人の方

「川崎市ふるさと納税申出書」に必要事項を記入し、選択メニューの「頑張る子ども・若者を応援する互助のまちづくりの推進」にチェックをして郵送、ファックスまたはEメールで送付してください。

●企業やその他団体の方

こども未来局総務部企画課（044-200-1726）へご連絡ください。

→ 納付書がお手元に届きましたら、川崎市が指定する金融機関でお振り込みください。

指定金融機関一覧

横浜銀行、りそな銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、川崎信用金庫、三井住友銀行、神奈川県銀行、静岡中央銀行、セレサ川崎農業協同組合、中央労働金庫、城南信用金庫、神奈川県医師信用組合、横浜幸銀信用組合、世田谷信用金庫、東日本銀行、芝信用金庫、さわやか信用金庫、きらぼし銀行、横浜信用金庫、ハナ信用組合、静岡銀行、群馬銀行、ゆうちょ銀行

※ ゆうちょ銀行での収納は、1都7県（東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、山梨）に所在する店舗及び郵便局に限ります。



寄附金控除について

川崎市など地方自治体に対する寄附を行った場合には、その支出した寄附金のうち2千円を超える額について、個人住民税及び所得税の寄附金控除の適用を受けることができます。後日、確定申告の際に必要なとなりますので、受領書は大切に保管してください。

※ 寄附金控除を受けるには、領収書等の寄附金の受領を証明する書類に添えて、最寄りの税務署で所得税の確定申告等の手続きをしていただく必要があります。

詳しくは川崎市ホームページをご覧ください。

川崎市子ども・若者応援基金

検索



問合せ先：川崎市こども未来局総務部企画課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話：044-200-1726 メール：45kikaku@city.kawasaki.jp

令和6年12月発行